

ささぶねのみち再整備工事（その3）

説明資料

横浜市都筑区 都筑土木事務所

緑道再整備について

緑道再整備のコンセプト

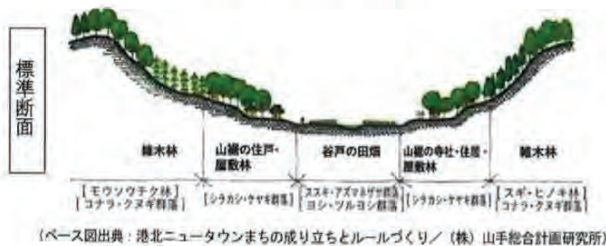
当初の緑道の設計思想を最大限に尊重しつつ、変化する社会情勢に対応した緑道を目指します。

港北ニュータウンの緑道網は、利用者の受ける印象レベルから、都市環境への貢献まで様々な工夫がなされています。

- ◎地形を活かす
- ◎立体交差による連続性の確保と場面転換
- ◎周辺環境に配慮した景観計画
- ◎エッジレス
- ◎視点場を結ぶ有機的な意匠
- ◎自然素材の多用
- ◎デザイン性に優れた施設
- ◎緑道を楽しむ仕掛け

一方、施設の老朽化やバリアフリー化、樹木の巨木化や過密化等が課題となっております。したがって、当初の設計思想や仕様を活かした再整備を行なっていきます。

開発以前



～港北ニュータウンのまちづくり方針～

- ・ 緑の環境を最大限保存する都市づくり
- ・ ‘ふるさと’ をしのばせる都市づくり
- ・ 安全なまちづくり
- ・ 高い水準のサービスが得られるまちづくり

計画～現在



～基本構想～ グリーンマトリックス

緑道を主骨格とし、集合住宅、学校、企業用地など大街区の斜面樹林や屋敷林など民有の緑の公園緑地などの公共の緑と束ねて連続させ、さらに歴史的遺産、水景などとも結合させて再構築し、地区全体の空間構成の要としたシステムです。

現在～将来



～ガイドラインの考え方～

- ・ 当初設計思想の継承
- ・ 利用形態の変化、社会的背景に対応
- ・ 市民参加

緑道再整備について

多様な利用形態による課題への再整備方針

空間イメージ



社会的背景、利用形態の変化による課題

ふるさとも感じさせる要素

- ①あぜ道 (土、石等) →
- ②谷戸を流れる小川 →
- ③樹林地 (屋敷林、雑木林) →
- ④一体的な土地利用 →

空間に読み替えられた要素

- ①土舗装、白河石舗装 →
- ②せせらぎ →
- ③保存緑地 →
- ④エッジレス 《付加機能》 →
 - ・手すり・車止め
 - ・ベンチ・サイン・照明

課題を踏まえた整備方針

- ①機能的かつ土を連想させる舗装、白河石の保存
- ②せせらぎの継承
- ③樹林地の再生
- ④エッジレスの継承 《付加機能の更新》
 - ・バリアフリー化、デザインの踏襲
 - ・機能性、景観性に配慮、LED化

ゾーニングについて

ゾーニング

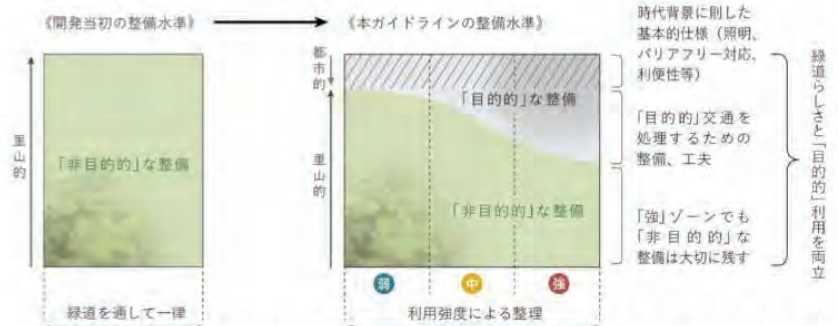
多様な利用形態に対応するため、緑道が区民に果たす役割によってゾーニングし、それに応じた整備を行います。

※ふじやとのみち・くさぶえのみちについて東京都市大学丹羽研究室より研究データの提供を受けました

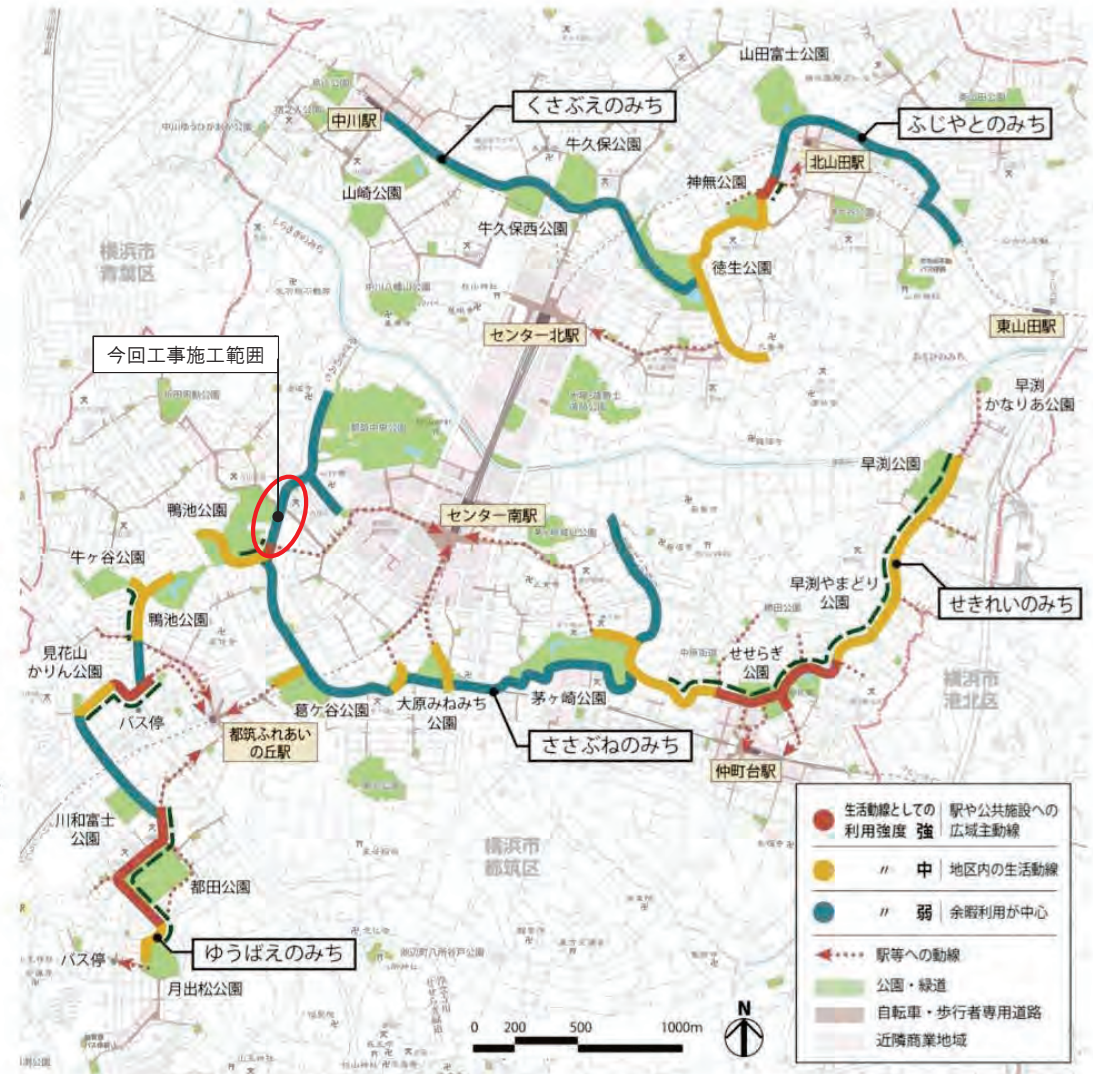
当初の設計思想を損なわずに変化する社会情勢に対応させるための手法として、ゾーニングの考え方を導入します。

緑道には多様な利用形態とそれに応じたニーズが存在します。

そこで、特に整備内容に対する考え方に開きの大きい「生活動線としての利用強度」によるゾーニングを行い、それぞれのゾーンに応じた整備内容を定めます。



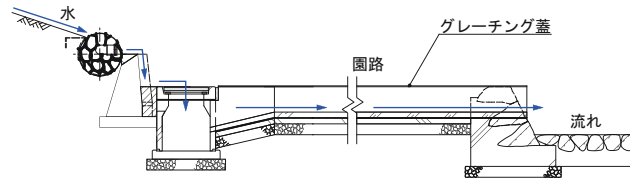
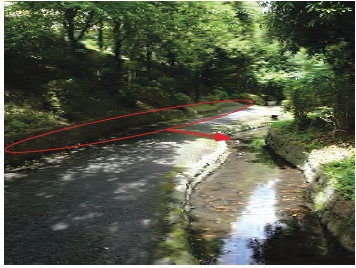
「生活動線としての利用頻度に基づくゾーニング」と整備水準の考え方



— 自転車通行を誘導する推奨ルートと重なっている区間 (P.17「都筑区自転車・歩行者安全事業」参照)
「生活動線としての利用頻度に基づくゾーニング」

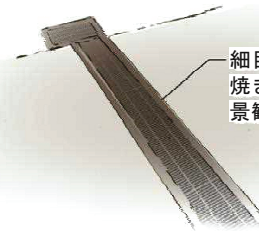
ささぶねのみち工事（その3）再整備方針（渋沢橋～若水橋）

■西側法面排水の改修



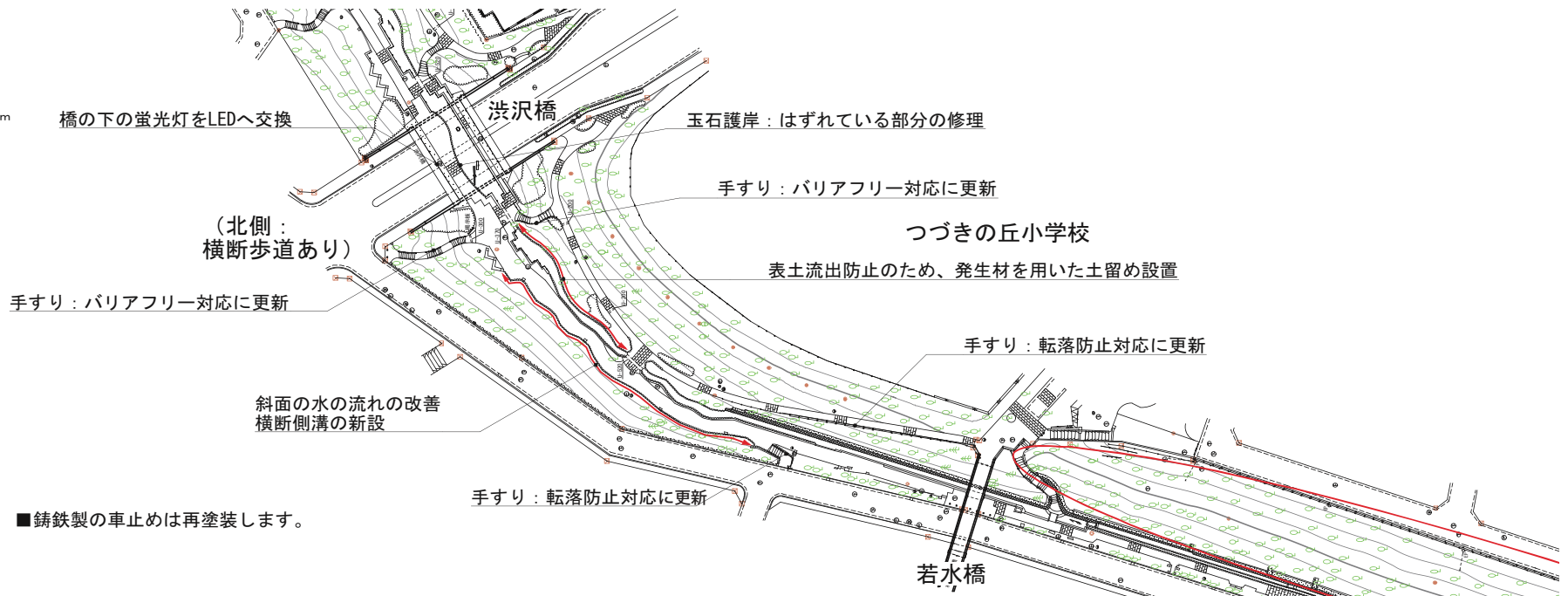
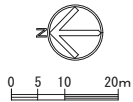
斜面からの水が園路に流れて園路の土が溜まっているため、斜面の下に排水施設を作り、排水施設を通して水を流れへ誘導します。斜面に沿って作る排水施設は景観になじむポリエチレン製のじゃかごを使用します。

■排水施設



細目グレーチングに焼き付け塗装を施し景観との調和を図る

園路に新しく設置する横断側溝は、景観になじむ黒い蓋にします。



■ 鋳鉄製の車止めは再塗装します。

■手すりの改修



当初のデザインレプリカの2段手すり

現在のバリアフリー基準に合っていない手すりは、基準、緑道再整備ガイドラインに則した手すりに改修を行います。

■転落防止柵に更新



開いている



開いている



安全に配慮した縦型の柵に更新する（イメージ）

ささぶねのみち工事（その3）再整備方針（若水橋～ささぶね橋）

■サインの更新

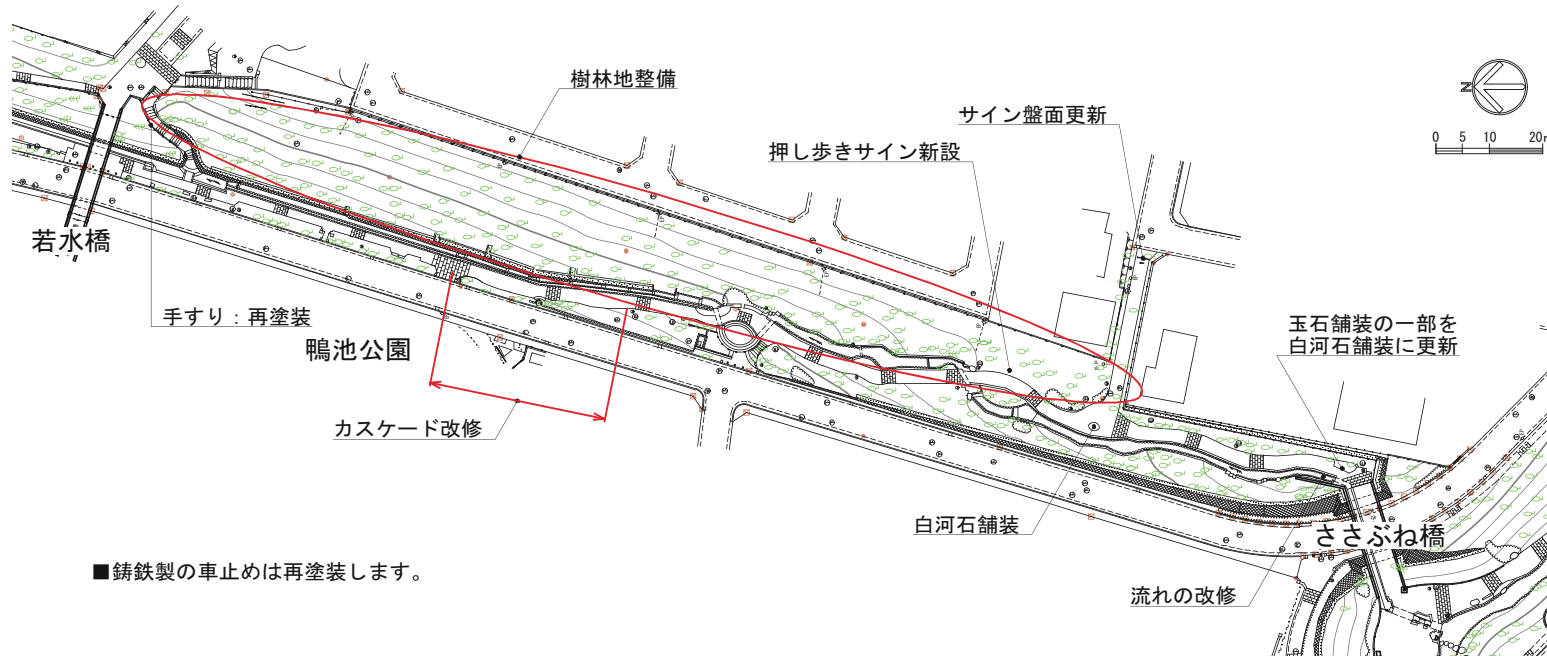


緑道再整備ガイドラインに則り、盤面をピクトグラムに改修します。

■舗装の改修

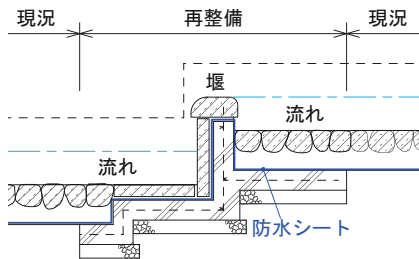


舗装の抜け 周囲と同じ白河石舗装で舗装します。



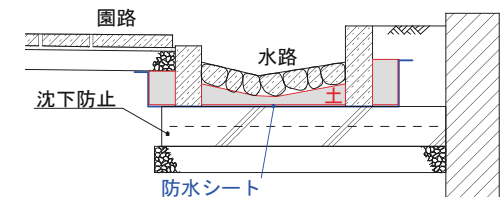
■ 鋳鉄製の車止めは再塗装します。

■カスケードの改修



カスケードの漏水は堰（段差になっている所）の周囲からの漏水が主な原因となっています。堰の部分改修することでカスケードの漏水を改善します。

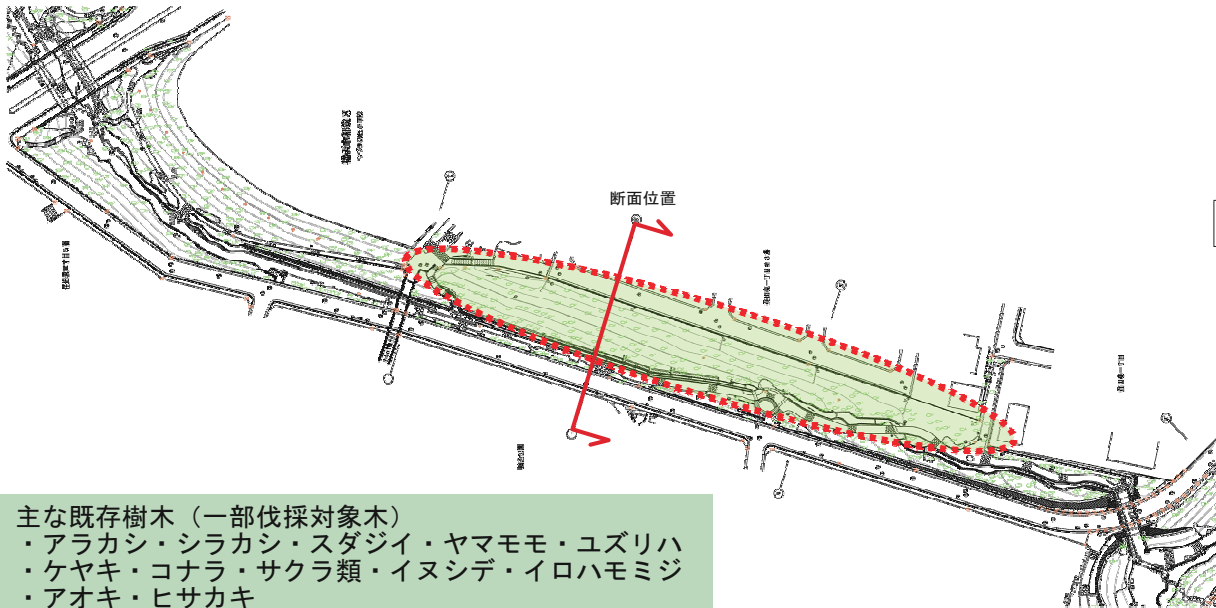
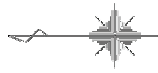
■流れの改修



河床が傾斜した影響により、水が流れの底の下に潜り込んでいます。河床の傾斜を直し、流れを再整備します。

ささぶねのみち工事（その3）樹林地整備方針

園路の苔や凍結を抑制するため、樹木の密度調整による地下水量の増加、樹林地内の明るさの確保などのため、高木の整理、枝落としと常緑中低木の伐採・切り戻しを行います。東から南の光が園路上に入るよう、樹木の整理は東側を中心に行います。



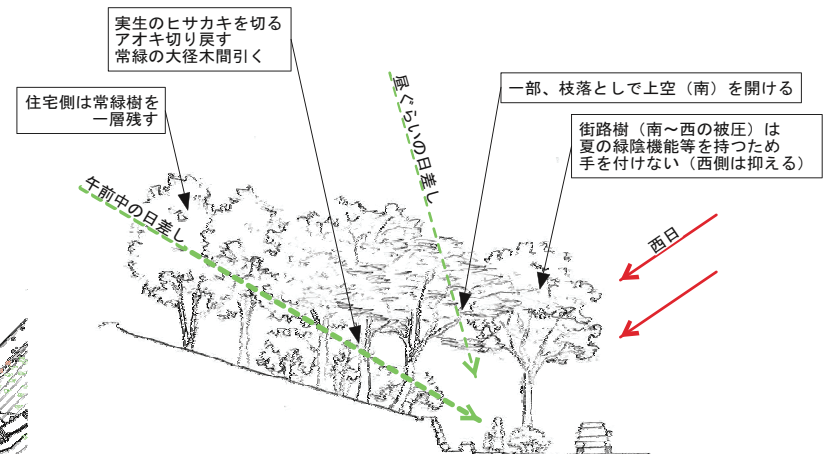
主な既存樹木（一部伐採対象木）

- ・アラカシ・シラカシ・スダジイ・ヤマモモ・ユズリハ
- ・ケヤキ・コナラ・サクラ類・イヌシデ・イロハモミジ
- ・アオキ・ヒサカキ

※東南向きの植栽帯で、午前中の東の光が入ってこない。

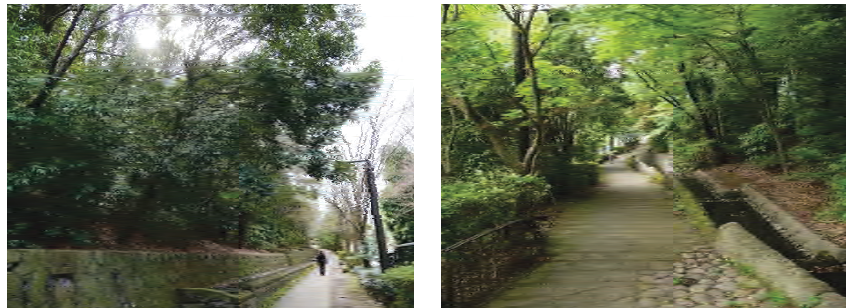
〈東〉

〈西〉



断面図

■樹林地現況



■樹林地整備イメージ（既整備部：ささぶねのみち（御影橋～ささぶね橋））



〈整備前〉



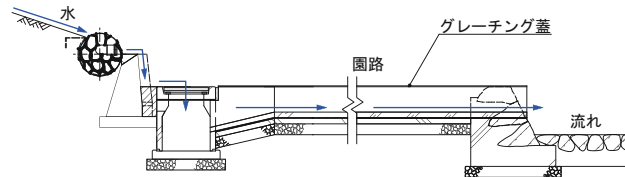
〈整備後〉

ささぶねのみち工事（その3）再整備方針（渋沢橋～若水橋）

いただいたご意見を一部取り入れました。

修正平面図

■西側法面排水の改修



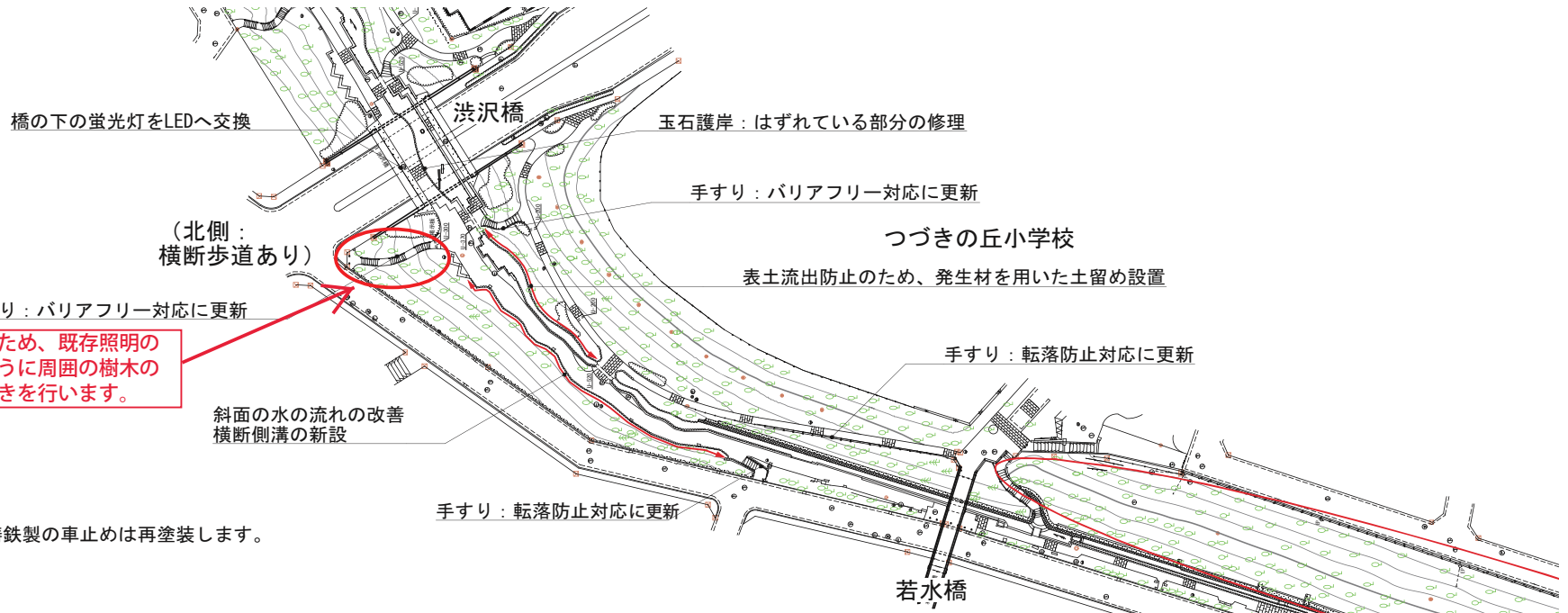
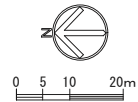
斜面からの水が園路に流れて園路の土が溜まっているため、斜面の下に排水施設を作り、排水施設を通して水を流れへ誘導します。斜面に沿って作る排水施設は景観になじむポリエチレン製のじゃかごを使用します。

■排水施設

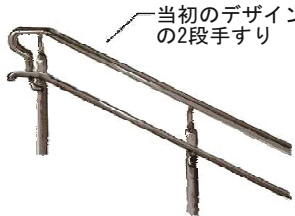


細目グレーチングに焼き付け塗装を施し景観との調和を図る

園路に新しく設置する横断側溝は、景観になじむ黒い蓋にします。



■手すりの改修



当初のデザインレプリカの2段手すり

現在のバリアフリー基準に合っていない手すりは、基準、緑道再整備ガイドラインに則した手すりに改修を行います。

■転落防止柵に更新



安全に配慮した縦型の柵に更新する（イメージ）

ささぶねのみち工事（その3）再整備方針（若水橋～ささぶね橋）

いただいたご意見を一部取り入れました。

修正平面図

■サインの更新



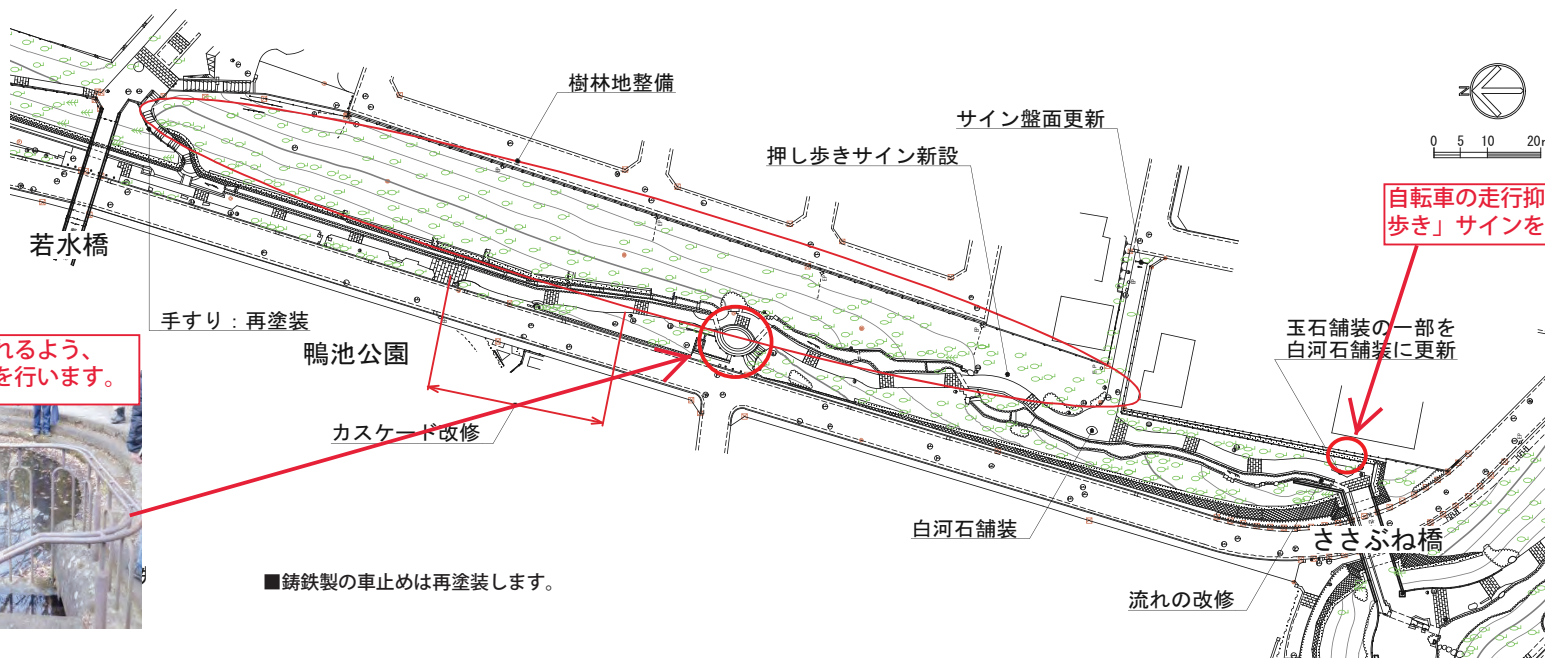
緑道再整備ガイドラインに則り、盤面をピクトグラムに改修します。

■舗装の改修

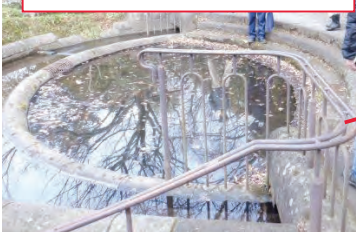


舗装の抜け 周囲と同じ白河石舗装で舗装します。

自転車の走行抑止のため、舗装はせず、低木の植栽を行います。



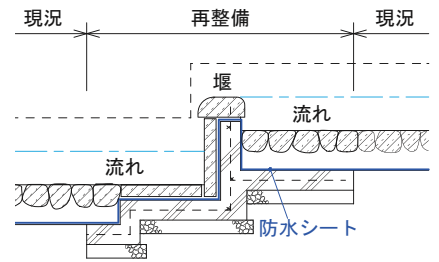
池の水が滞らず流れるよう、部分的に池の改良を行います。



■铸铁製の車止めは再塗装します。

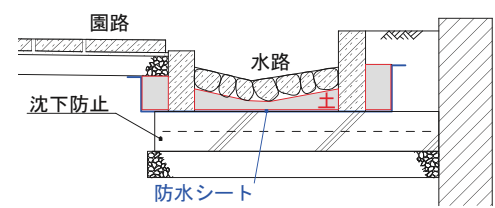
自転車の走行抑止のため、「押し歩き」サインを追加します。

■カスケードの改修



カスケードの漏水は堰（段差になっている所）の周囲からの漏水が主な原因となっています。堰の部分改修することでカスケードの漏水を改善します。

■流れの改修



河床が傾斜した影響により、水が流れの底の下に潜り込んでいます。河床の傾斜を直し、流れを再整備します。

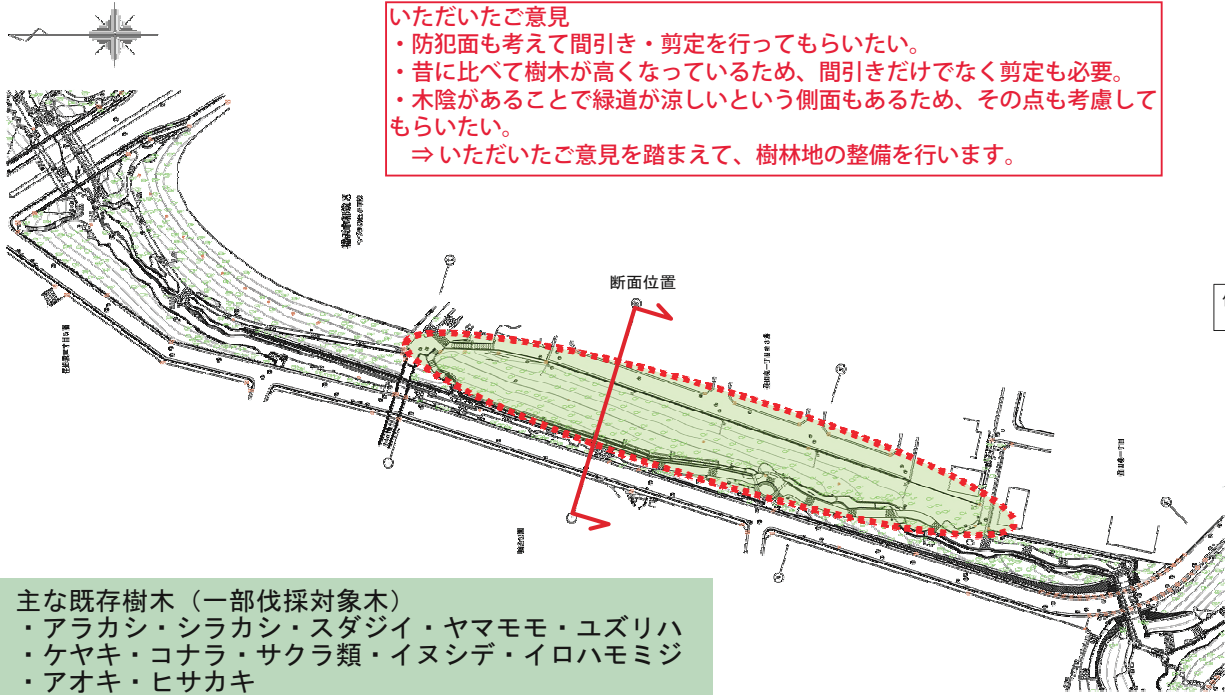
ささぶねのみち工事（その3）樹林地整備方針

いただいたご意見を一部取り入れました。

修正平面図

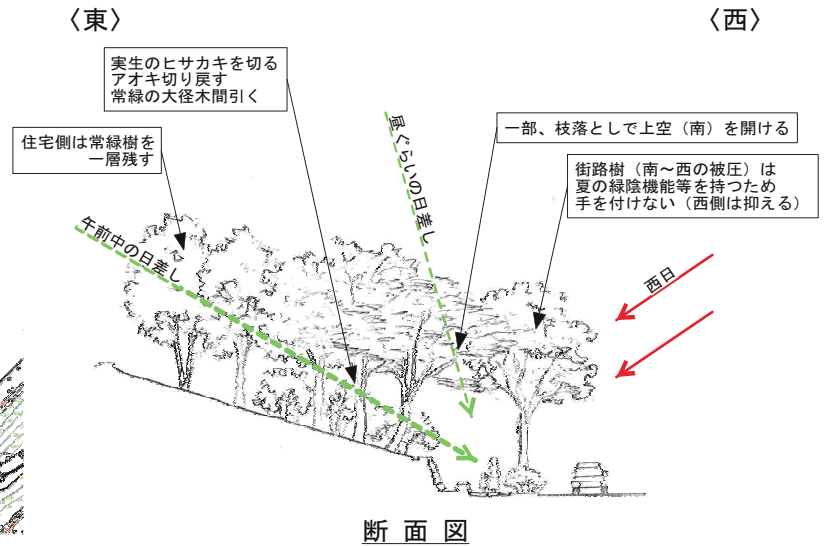
園路の苔や凍結を抑制するため、樹木の密度調整による地下水量の増加、樹林地内の明るさの確保などのため、高木の整理、枝落としと常緑中低木の伐採・切り戻しを行います。東から南の光が園路上に入るよう、樹木の整理は東側を中心に行います。

いただいたご意見
 ・防犯面も考えて間引き・剪定を行ってほしい。
 ・昔に比べて樹木が高くなっているため、間引きだけでなく剪定も必要。
 ・木陰があることで緑道が涼しいという側面もあるため、その点も考慮してほしい。
 ⇒いただいたご意見を踏まえて、樹林地の整備を行います。

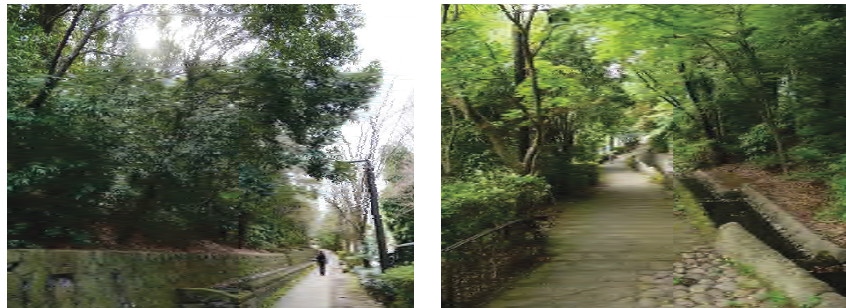


- 主な既存樹木（一部伐採対象木）
- ・アラカシ・シラカシ・スダジイ・ヤマモモ・ユズリハ
 - ・ケヤキ・コナラ・サクラ類・イヌシデ・イロハモミジ
 - ・アオキ・ヒサカキ

※東南向きの植栽帯で、午前中の東の光が入ってこない。



■樹林地現況



■樹林地整備イメージ（既整備部：ささぶねのみち（御影橋～ささぶね橋））

